

**グリーン物流パートナーシップ会議**  
**会員登録状況・WGの設置等作業計画について**

**平成17年4月26日**

**経済産業省**  
**商務情報政策局 流通 物流政策室**

# 1. グリーン物流パートナーシップ会議運営 検討体制

## グリーン物流パートナーシップ会議

(世話人：杉山武彦 一橋大学 学長)

### 運営会議

#### 基本的事項の決定

(開催スケジュール、メンバー登録、WG設置等)

運営会議は、  
(社)日本ロジスティクスシステム協会  
(JILS)  
(社)日本物流団体連合会  
経済産業省  
国土交通省  
(社)日本経済団体連合会 で構成。

### 事業調整・評価WG

モデル事業の造成

グリーン物流モデル  
事業の選定、評価、支援

### CO<sub>2</sub>排出量算定WG

ロジスティクス分野におけるCO<sub>2</sub>排出量算定方法  
をとりまとめたガイドライン  
に基づく検討

### 広報企画WG

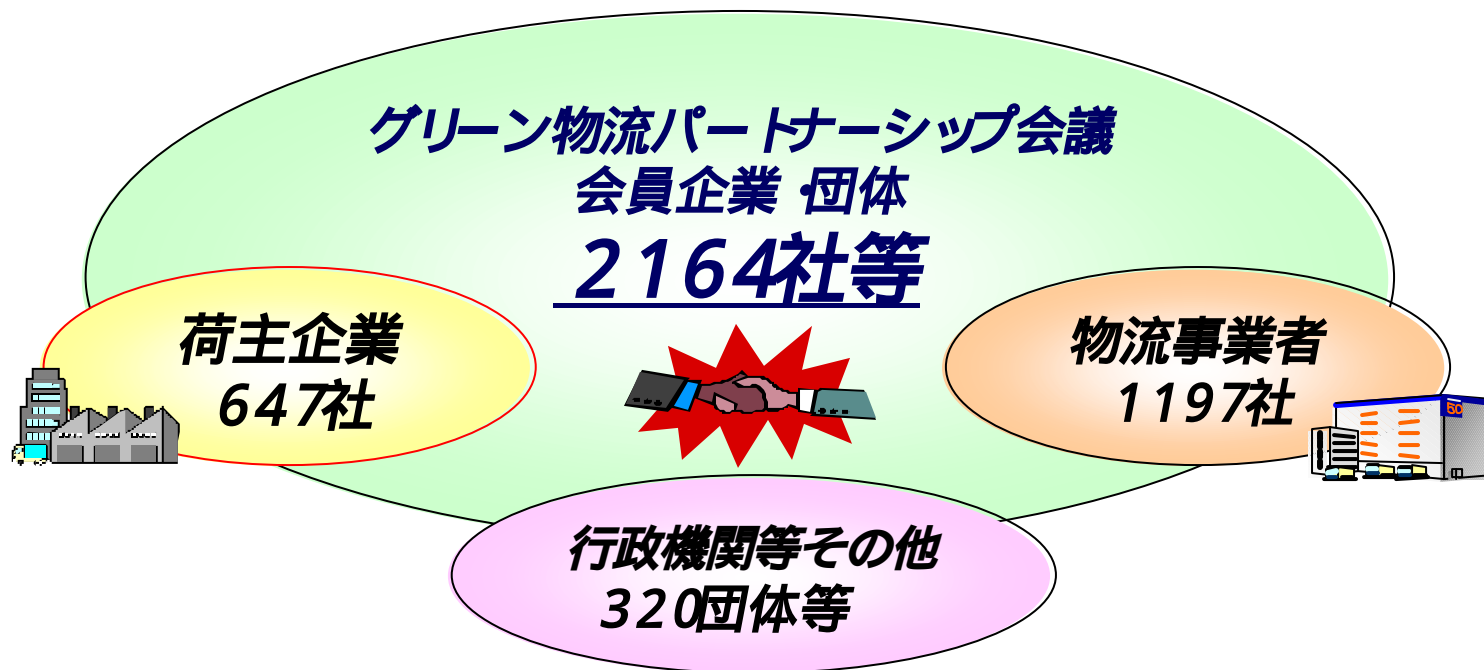
優良事例の選出、PR  
パートナーシップ普及、  
拡大に向けた広報

## 2.グリーン物流パートナーシップ会議会員登録状況

平成17年2月1日より 会員登録の受付を開始。

(登録受付は現在も継続実施中)

平成17年4月22日現在にて、2164の企業、団体等が会員登録済。



### 3. グリーン物流パートナーシップ会議全体スケジュール

平成16年 12月	平成17年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	~
<b>グリーン物流パートナーシップ会議 発足</b> 会議の趣旨、関連施策、今後の進め方等 について説明	<b>会員募集開始</b>	事業者団体ごとの一括申込み受付け ( JILS、物流連)			個別企業等の申込み受付 (ウェブ上で受付)			<b>第二回グリーン物流パートナーシップ会議</b> 推進するモデル事業の決定 各WGの検討状況の報告
		<b>第一回グリーン物流パートナーシップ会議</b> メンバー、運営 検討体制等に係る 各WGにおける作業計画の説明 予算等支援措置の説明 等			事業調整・評価WG CO2排出量算定WG 広報企画WG			

## 4.ワーキンググループの活動内容・計画について

### 事業評価 調整ワーキンググループ

荷主企業及び物流事業者のパートナーシップ(協力・協働)により、CO<sub>2</sub>等の環境負荷の削減に取り組むモデル事業組成全般に係る取り組みを行う

グリーン物流パートナーシップ会議 会員規約第3条(1)参照

#### 【事業内容】

- ・モデル事業の事業計画・応募企業の調整、情報提供
- ・モデル事業の選定・認定
- ・モデル事業の実施結果を踏まえた評価・課題整理
- ・今後の取り組み拡大に向けた取り組み方策の検討 等

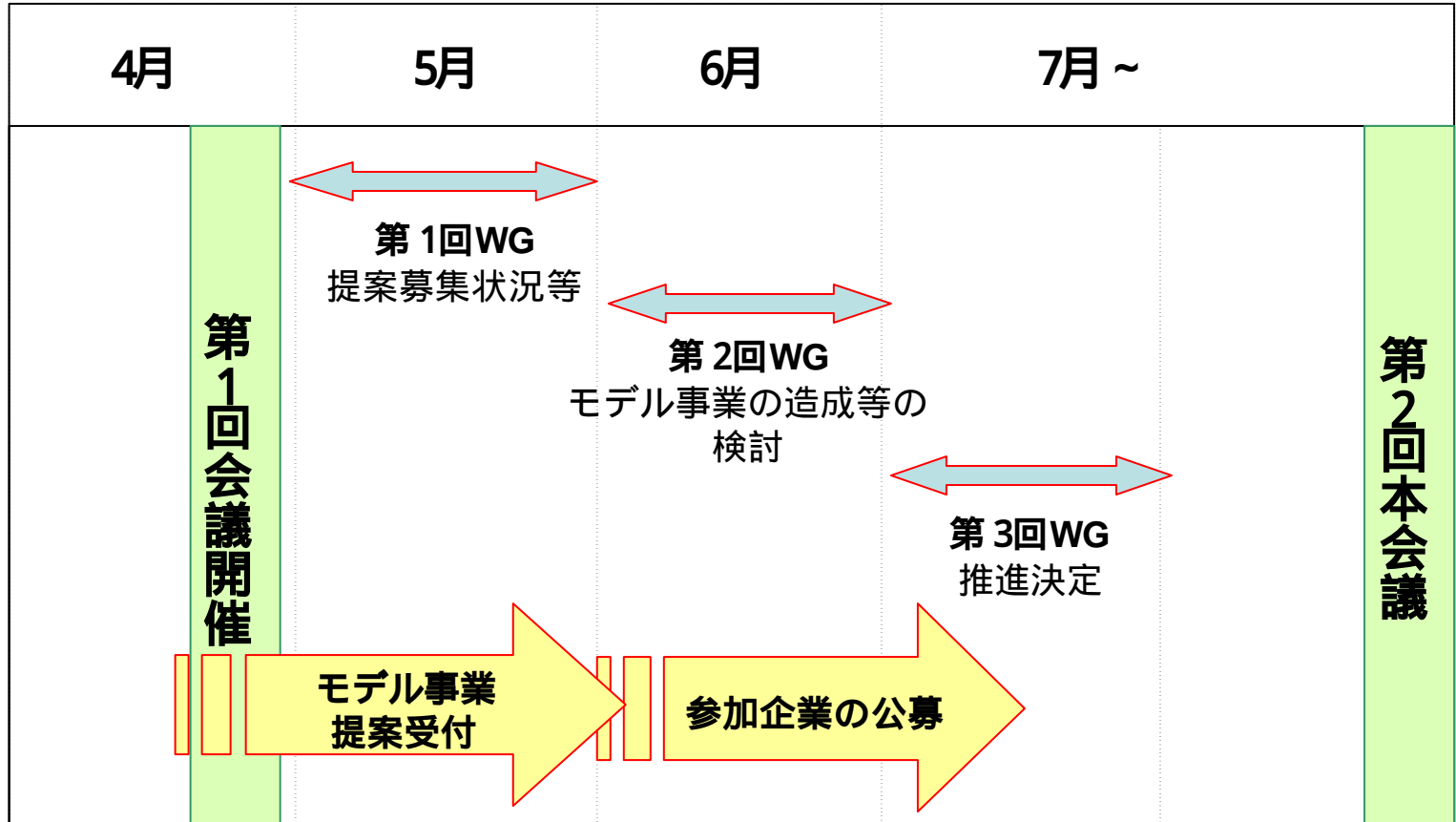
## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

### 事業評価 調整ワーキンググループメンバー (五十音順)

- 市瀬 圭次 (全国内航輸送海運組合 理事、日鐵物流 (株) 代表取締役社長)
- 魚住 和宏 (味の素 (株) 食品カンパニー ロジスティクス戦略本部物流企画部 企画グループ長)
- 小野 秀昭 ((株)UFJ総合研究所 経済・社会政策部 運輸物流研究室長)
- 苦瀬 博仁 (東京海洋大学教授)
- 小林 正明 (日本貨物鉄道 (株) 代表取締役専務)
- 斎藤 実 (神奈川大学教授)
- 坂弥 雄二 (富士ゼロックス (株) SCM統括本部 SCM管理グループ 物流管理T長)
- 杉山 雅洋 (早稲田大学教授)
- 千原 光 (サントリー (株) SCM本部 物流部長)
- 中西 英一郎 (全日本トラック協会 副会長、日本ロジテム (株) 代表取締役会長)
- 楡 敏秀 (日本冷蔵倉庫協会 副会長、(株)ニチレイ 取締役専務執行役員)
- 樋口 恵一 (倉庫業青年経営者協議会 会長、川崎陸送 (株) 代表取締役社長)
- 増井 健人 (全国通運連盟 理事長)
- 眞鍋 邦夫 (日本路線トラック連盟 環境委員長)
- 諸星 登 (プラネット物流 (株) 代表取締役社長)
- 矢野 裕児 (流通経済大学教授)
- 山本 栄二 (国分 (株) 取締役 物流統括部長)
- 湯浅 和夫 (湯浅コンサルティング (株) 代表取締役社長)

## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

### 事業評価 調整ワーキンググループ 【当面の作業計画】



## 4.ワーキンググループの活動内容・計画について

### CO2排出量算定ワーキンググループ

CO2排出削減量・削減効果の定量的な把握に資する標準的な指標及び算定方法について検討する。

グリーン物流パートナーシップ会議 会員規約第3条(2)

#### 【事業内容】

- ・取り組みに応じた算定手法の検討（原単位の精緻化等）
- ・外部委託した場合のCO2排出量の算定方法の検討
- ・必要データの取得・受渡手続の検討 等

経済産業省と国土交通省、関係団体が協力のうえ、とりまとめたガイドラインをベースに技術的及び実務的見地から検討を行う



## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

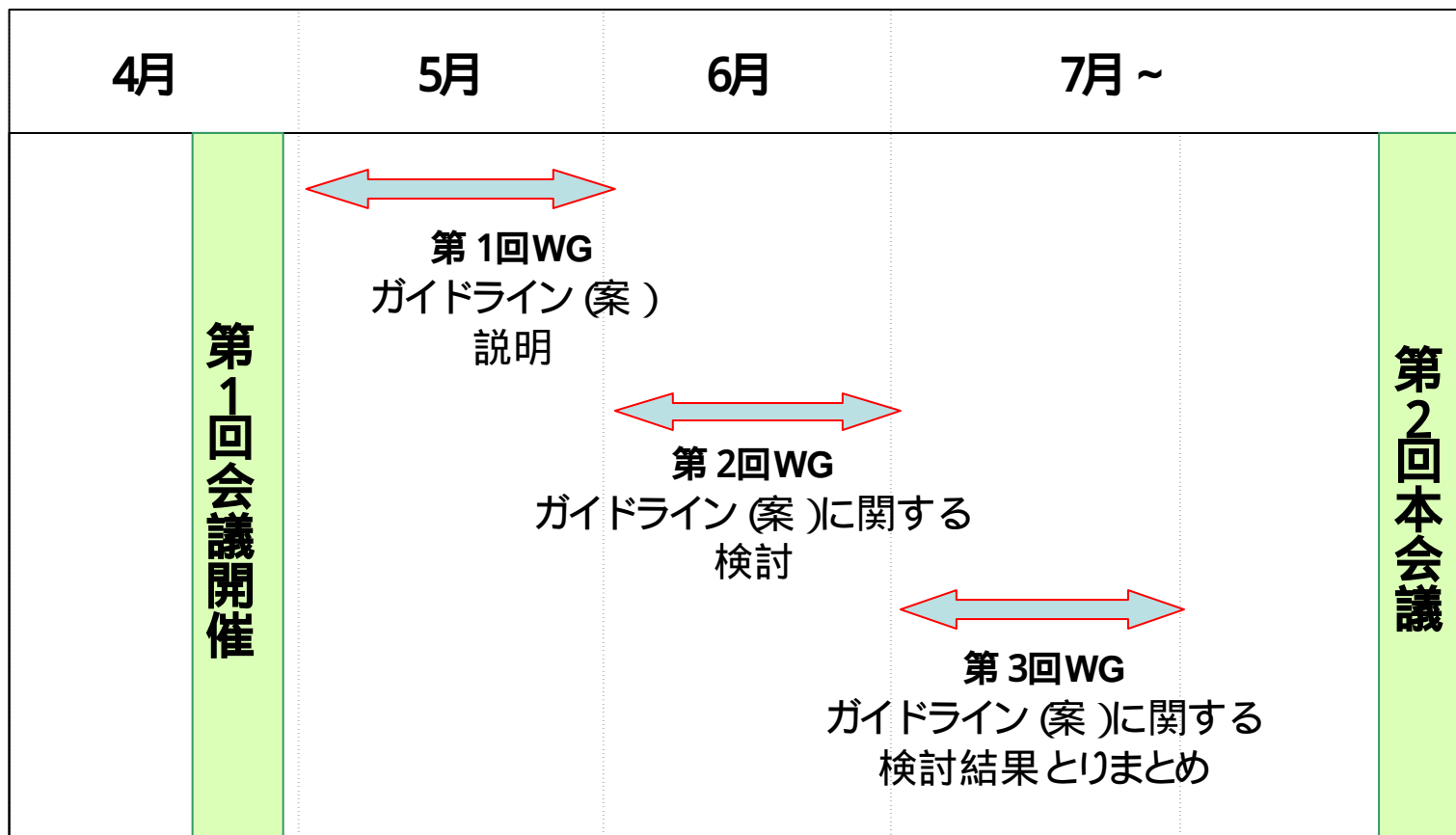
### CO2排出量算定ワーキンググループメンバー (五十音順)

- 荒木 恒美 (日本通運 (株) 環境部長)
- 飯島 康司 (三菱電機 (株) ロジスティクス部 企画グループ専任)
- 飯田 慎一 (松下電器産業 (株) 環境本部 環境渉外チーム 主事)
- 伊藤 一道 ((株)三菱総合研究所 地球環境研究本部 サステナビリティ研究部  
環境政策 経営研究チーム チームリーダー)
- 垣迫 裕俊 (北九州市 環境局長)
- 鎌田 康 (日本貨物鉄道 (株) 経営企画部 担当部長)
- 別所 恭一 (佐川急便 (株) 執行役員 CSR推進本部環境推進部長)
- 高松 孝行 (トヨタ自動車 (株) 物流企画部 主査)
- 辻 泰弘 (日立物流 (株) 環境部 担当部長)
- 納富 信 (早稲田大学 環境総合研究センター 助教授)
- 野村 久則 ((株)菱食 ロジスティクス本部 ロジスティクス統括部  
ロジスティクス・コントロールチーム 主事)
- 増井 忠幸 (武蔵工業大学 教授)
- 山口 匡 ((株)トーマツ審査評価機構 CDM審査部)

## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

### CO2排出量算定ワーキンググループ

#### 【当面の作業計画】



## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

### 広報企画ワーキンググループ

他の企業や団体の模範となる先進的な取り組み事例に係る情報提供及びその広報の実施方策の検討を行う。

グリーン物流パートナーシップ会議 会員規約第3条(3)

#### 【事業内容】

- ・ウェブサイト等による活動状況の情報の提供、共有
- ・シンボルマークの制定やキャッチフレーズの検討
- ・模範的な取り組み事例の選出や普及方策の検討
- ・パートナーシップ普及拡大に向けた広報全般 等

## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

### 広報企画ワーキンググループメンバー (五十音順)

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| 井本 隆之      | (井本商運 (株) 代表取締役社長)           |
| 川 茂夫       | (株)イトーヨーカ堂 執行役員 物流部長)        |
| 黒坂 真一      | (株)ヤマタネ 情報営業部課長)             |
| 白鳥 美紀      | (ヤマト運輸 (株) 関東支社 副支社長)        |
| 菅田 勝       | (リコーロジスティクス (株) 経営管理本部 副本部長) |
| 杉尾 誠       | (社)日本電線工業会 調査部 部長補佐)         |
| 細野 康弘      | (株)中央青山サステナビリティ認証機構 代表取締役社長) |
| 堀口 英雄      | (東芝物流 (株) 物流技術部長附 品質 環境管理部)  |
| マリ クリスティーナ | (異文化コミュニケーター)                |
| 三浦 俊男      | (日本ロジテム (株) 品質管理部部長)         |
| 村田 省蔵      | (全日本トラック協会 広報部長 兼 渉外部長)      |

## 4.ワーキンググループの活動内容 計画について

### 広報企画ワーキンググループ 【当面の作業計画】

